

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/05/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イラン和平への期待で反落

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル台中盤まで下落した。引き続きイラン情勢が注目されているが、米国とイランの和平合意が近づいているとの楽観的な見方が、原油相場を押し下げた。米国とイランの軍事衝突が複数回にわたって報告されているものの、トランプ米大統領は停戦合意が維持されているとの見方を示し、軍事衝突の再開を望んでいない姿勢を強く示唆した。また、米国が和平合意に向けた「覚書」を作成し、イランが対応の検討を始めたことが、原油相場を大きく下押しした。ただし、5月8日までにイラン側の具体的な対応はみられず、先行き不透明感を残したまま週末を迎えた。

米ニュースサイトAxiosなどによると、米国は停戦合意を延長した上でホルムズ海峡の開放を行い、その後に核問題を協議する方向性を打ち出している模様だ。これまでイランが要求していた核問題の先送りを米国が一定程度受け入れた格好だが、イラン側からは受け入れ困難な項目もあるとの声が聞かれ、和平合意が実現するのには依然として不透明感を抱えた状態が続いた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月1日時点）は、原油が前週231万バレル減、ガソリンが250万バレル減、石油精製品が129万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

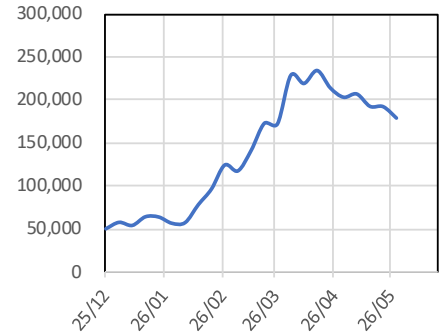
イラン和平合意期待だと90ドル割れも、不安定な地合が続く

イラン情勢に強く依存する展開が続く。前週は米国が和平合意に向けた「覚書」を作成し、イランの反応待ちの状態になった。このため、イランがどのような対応を見せるのかが、短期トレンドを決定づける。直ちに和平合意に至らなくても、2回目の和平協議開催に向けて前進がみられれば、原油相場は値下がりリスクを維持し、90ドル台を割り込む可能性が高まる。根本的な問題解決には時間が必要だが、ホルムズ海峡の流通が段階的に正常化に向かうとの見通しが強まれば、原油相場は期近限月主導で値下がりする可能性が高まる。

米国が和平合意を急ぎ始めたことで、基調としては戻り売り優勢の展開が続きやすい。ドライブシーズンのガソリン価格高騰、5月14～15日に米中首脳会談を控えたイベントリスク、戦争の長期化が中間選挙に及ぼす悪影響への懸念などから、トランプ米大統領は対イランの交渉で忍耐強さを見せ始めている。ただし、イランが受け入れ困難との姿勢を示し、ホルムズ海峡開放の見通しが立たない場合には、100ドル台を回復するリスクが残される。原油相場の安定的な値下がり促すためには、ホルムズ海峡の原油・石油製品の流通回復が必要不可欠だ。また、米国とイランの間で大規模な軍事衝突が発生するリスクにも注意が必要だ。イランはUAEのエネルギー関連施設に対する攻撃も再開しており、軍事的な緊張感を高める動きがみられた場合にも、買いが膨らみやすくなる。

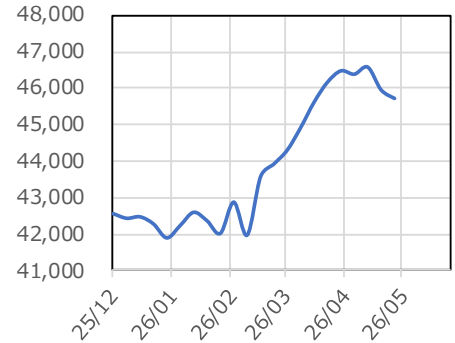
5月13日に国際エネルギー機関（IEA）と石油輸出国機構（OPEC）の月報が発表される。需給見通しの修正状況にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



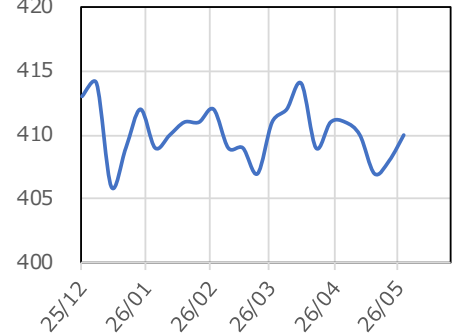
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

